

コンパクトクールキット 取扱説明書

(シリンダーヘッド下マウント)

適応車種	モンキー・ゴリラ モンキー BAJA	対象クラッチカバー	◎弊社製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む)/TYPE-R (WET/DRY) ◎弊社製乾式クラッチカバー 2 型 (ver.1/ver.2)
		適応条件	◎弊社製 10 インチホイール ◎旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパーヘッド装着車 ◎スーパーヘッド +R 装着車 ※コンプリートエンジン 148cc/158cc は除く ◎スーパーヘッド 4V+R

◎旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパーヘッド	
◎スリムラインホース	
対象クラッチカバーオイル取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所 ヘッド下マウント	
製品番号	07-07-0302 (4 フィン)
	07-07-0303 (3 フィン)

◎スーパーヘッド +R ヘッド	
◎ブレードホース (#4)	
対象クラッチカバーオイル取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所 ヘッド下マウント	
製品番号	07-07-0382 (3 フィン)

◎スーパーヘッド 4V+R ヘッド	
◎スリムラインホース	
対象クラッチカバーオイル取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所 ヘッド下マウント	
製品番号	07-07-0304 (3 フィン)

◎スーパーヘッド 4V+R ヘッド	
◎ブレードホース (#4)	
対象クラッチカバーオイル取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所 ヘッド下マウント	
製品番号	07-07-0381 (3 フィン)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。
- ◎オイル量は通常規定オイル量に 4 フィン：約 60cc / 3 フィン：約 40cc 追加して下さい。
- ◎当製品を使用すると、ノーマルマフラー及びアップマフラーが使用出来なくなります。
- ◎当製品は取り付けステーが専用の為、他のシリンダーヘッドには取り付け出来ません。
- ◎当製品の装着に際し、サーモスタット及びオイルホールプラグの同時装着は出来ません。同時装着した場合、エンジンオイルが循環せず、重大なエンジントラブルになります。
- ◎マフラーのエキゾーストパイプにオイルが付着した場合は、油分を拭き取って下さい。
- ◎ノーマルフロントフォークには使用出来ません。
- ◎当製品は、記載の適合表に合致する車種、フレーム番号の車両で、弊社製スーパーヘッド及び、弊社製スペシャルクラッチ (フィルター付) 若しくは乾式クラッチ (フィルター横方向取り付けタイプ) 装着車専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎スーパーヘッド +R コンプリートエンジンの 148cc/158cc には使用出来ません。

～特 徴～

冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンボアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。

コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。

付属のオイルクーラーステーを使用し、シリンダーヘッド下マウントでオイルクーラー本体を固定します。

クーラー本体は 3 フィン 4 オイルラインと、4 フィン 5 オイルラインの 2 種類からお選び頂けます。

オイルクーラーへのオイル取り出しは、弊社製対象クラッチカバーにあるオイルフィルター部に専用のユニットを装着する事で、オイルクーラーの取り出しが可能になります。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り適法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- 走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。(エンジン損傷の原因となります。)

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

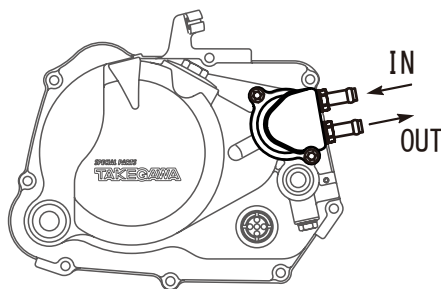
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

付属オイルクーラーユニット(タイプ2)



弊社製クラッチカバー一覧

オイルクーラーユニットの 取付け可能なクラッチカバー一覧		
	クラッチカバー名	クラッチカバー形状
現行品	スペシャルクラッチカバー TYPE-R (WET/DRY)	
	スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製) ※プライマリー含む	
旧タイプ	スペシャルクラッチカバー TYPE-R (WET/DRY)	
	乾式クラッチカバー (2型 / ver. 1)	
	乾式クラッチカバー (2型 / ver. 2)	

オイルクーラーユニットの 取付けが出来ないクラッチカバー一覧		
	クラッチカバー名	クラッチカバー形状
旧タイプ	スペシャルクラッチカバー (砂型鑄造製) (オイルフィルター無し)	×
	乾式クラッチカバー (2型 / ver. 1)	×

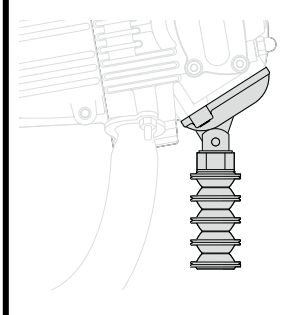
製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。

オイルクーラー取付け場所：シリンダーヘッド下マウント

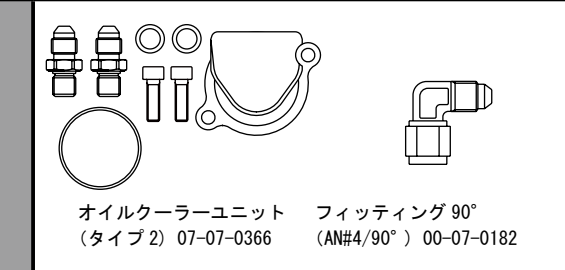
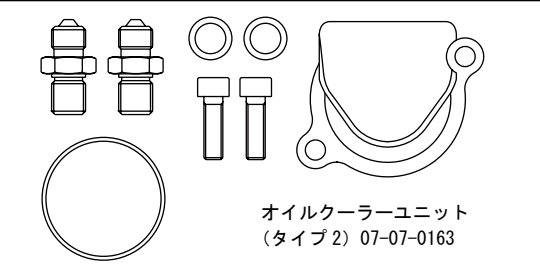
製品名 / キット品番

コンパクトクーラーキット (スリムラインホース)
旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパー
ヘッド装着車
(SP 武川製スペシャルクラッチカバー
砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) /
TYPE-R (WET/DRY)
乾式クラッチカバー 2 型 ver. 1/ver. 2)
4 フィン 07-07-0302 3 フィン 07-07-0303

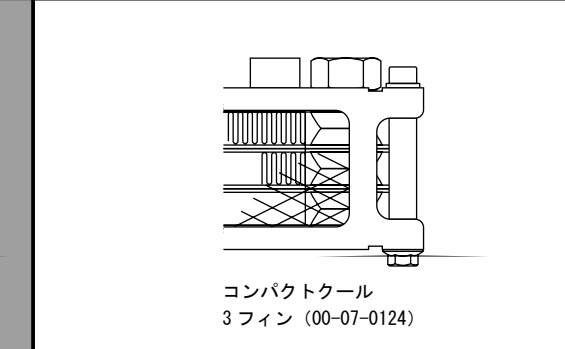
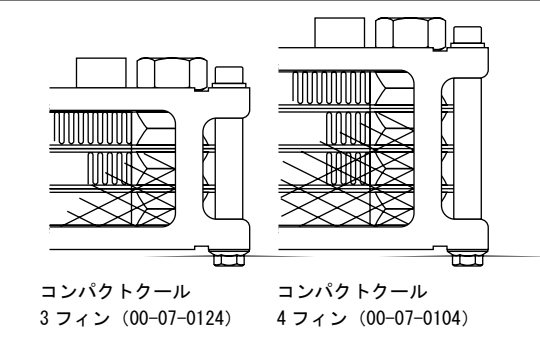
コンパクトクーラーキット (ブレードホース #4)
スーパーヘッド +R 装着車
(SP 武川製スペシャルクラッチカバー
砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) /
TYPE-R (WET/DRY)
乾式クラッチカバー 2 型 ver. 1/ver. 2)
3 フィン 07-07-0382



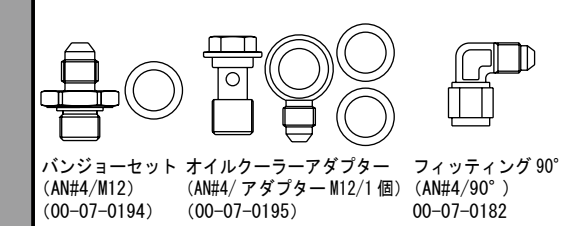
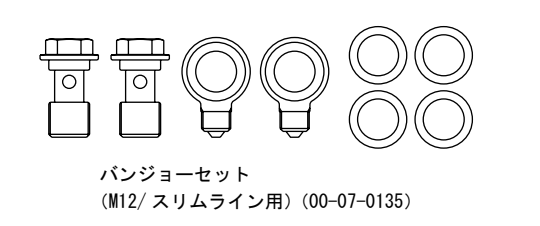
オイル取り出し口



オイルクーラー本体

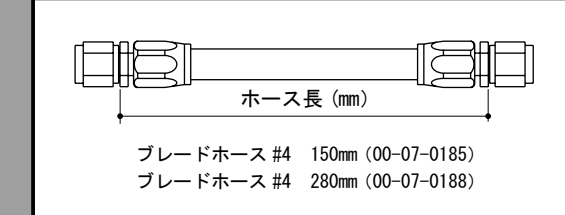
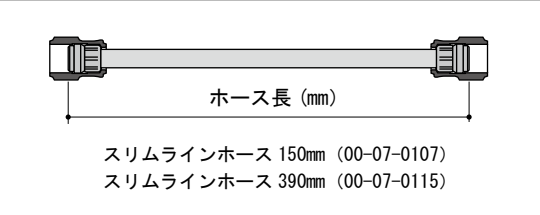


バンジョー
フィッティング
(オイルクーラー側)

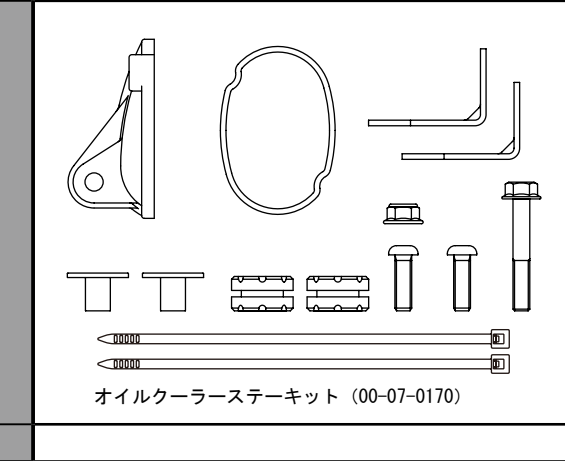
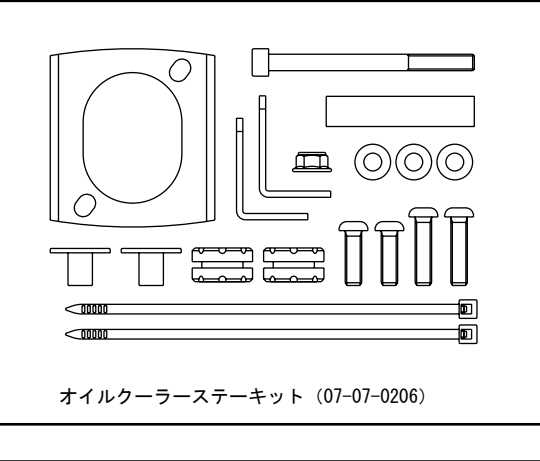


バンジョー
フィッティング

ホース (ホース長)



オイルクーラー
ステーセット
(シリンダーヘッド下
マウント)



製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。

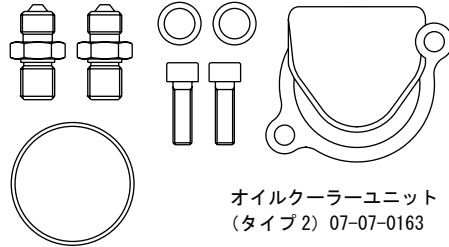
オイルクーラー取付け場所：シリンダーヘッド下マウント

製品名 / キット品番

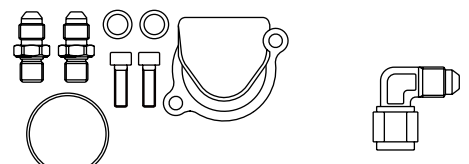
コンパクトクールキット (スリムラインホース)
 スーパーヘッド 4V+R 装着車
 (SP 武川製スペシャルクラッチカバー
 砂型鋳造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) /
 TYPE-R (WET/DRY)
 乾式クラッチカバー 2 型 ver. 1/ver. 2)
 3 フィン 07-07-0304

コンパクトクールキット (ブレードホース #4)
 スーパーヘッド 4V+R 装着車
 (SP 武川製スペシャルクラッチカバー
 砂型鋳造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) /
 TYPE-R (WET/DRY)
 乾式クラッチカバー 2 型 ver. 1/ver. 2)
 3 フィン 07-07-0381

オイル取り出し口

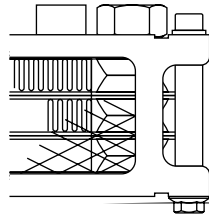


オイルクーラーユニット
 (タイプ 2) 07-07-0163

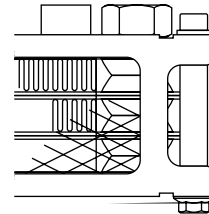


オイルクーラーユニット フィッティング 90°
 (タイプ 2) 07-07-0366 (AN#4/90°) 00-07-0182

オイルクーラー本体

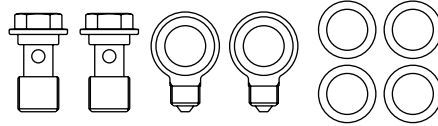


コンパクトクール
 3 フィン (00-07-0124)

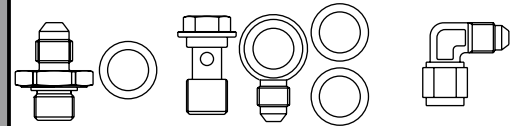


コンパクトクール
 3 フィン (00-07-0124)

バンジョー
 フィッティング
 (オイルクーラー側)



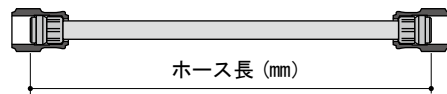
バンジョーセット
 (M12/ スリムライン用) (00-07-0135)



バンジョーセット オイルクーラーアダプター フィッティング 90°
 (AN#4/M12) (AN#4/ アダプター M12/1 個) (AN#4/90°)
 (00-07-0194) (00-07-0195) 00-07-0182

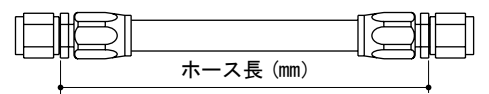
バンジョー
 フィッティング

ホース (ホース長)



ホース長 (mm)

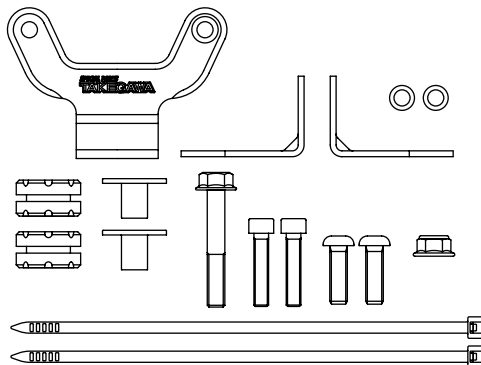
スリムラインホース 150mm (00-07-0107)
 スリムラインホース 390mm (00-07-0115)



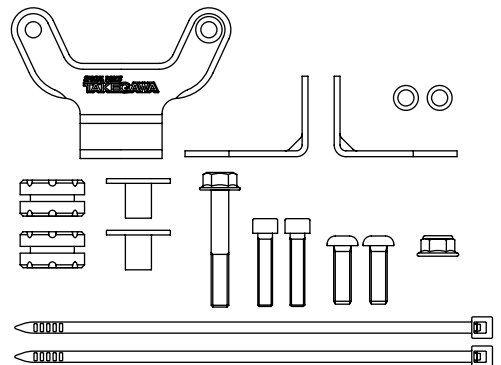
ホース長 (mm)

ブレードホース #4 150mm (00-07-0185)
 ブレードホース #4 280mm (00-07-0188)

オイルクーラー
 ステーセット
 (シリンダーヘッド下
 マウント)



オイルクーラーステーキット (00-07-0172)



オイルクーラーステーキット (00-07-0172)

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトクールキット シリンダーヘッド下マウント
旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパーヘッド / スーパーヘッド +R/ スーパーヘッド 4V+R

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む)/TYPE-R (WET/DRY)
乾式クラッチカバー 2型 ver. 1/ver. 2

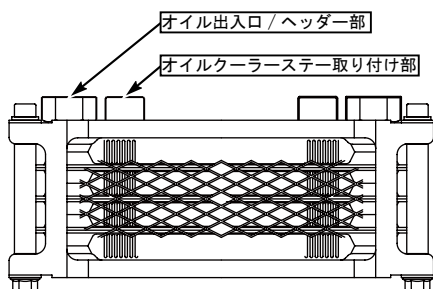
オイルクーラー本体オイルクーラー出入口の方向と組み付け

◎スリムラインホース

対象商品 07-07-0302 07-07-0303 07-07-0304

■オイルクーラー本体 オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認
下図のようにオイルクーラーステー取り付け部とオイル出入口が上になっているか確認します。(弊社出荷時は下図の様になっています)



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け
オイルクーラー本体のオイル出入口に下図 A の順 (シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャ、バンジョーボルト) で仮止めします。

⚠注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝があります。(下図 B)
この溝にシーリングワッシャを確実に収めて下さい。
溝に収めていない状態で、組み付けるとオイル漏れの原因となります。

図 A

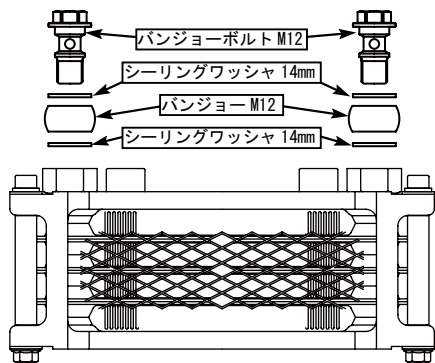
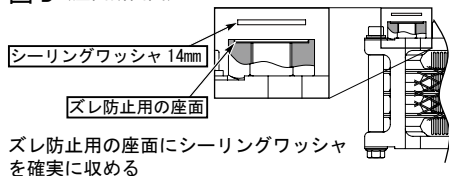


図 B (座面断面図)



■バンジョーボルトのトルク締めについて
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの取り回し確定後に規定トルク締めを行います。

⚠注意 バンジョーボルト締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。

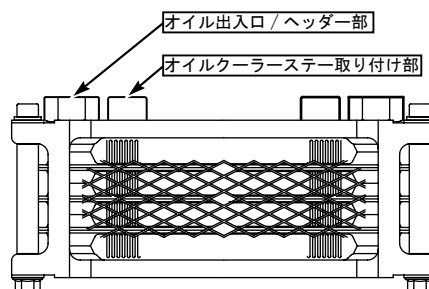
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

◎ブレードホース

対象商品 07-07-0381 07-07-0382

■オイルクーラー本体 オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認
下図のようにオイルクーラーステー取り付け部とオイル出入口が上になっているか確認します。(弊社出荷時は下図の様になっています)



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け
オイルクーラー本体のオイル出入口に下図 A の順左側 (シーリングワッシャ、アダプター、フィッティング 90°)、右側 (シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャ、バンジョーボルト) で仮止めします。

⚠注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝があります。(下図 B)
この溝にシーリングワッシャを確実に収めて下さい。
溝に収めていない状態で、組み付けるとオイル漏れの原因となります。

図 A

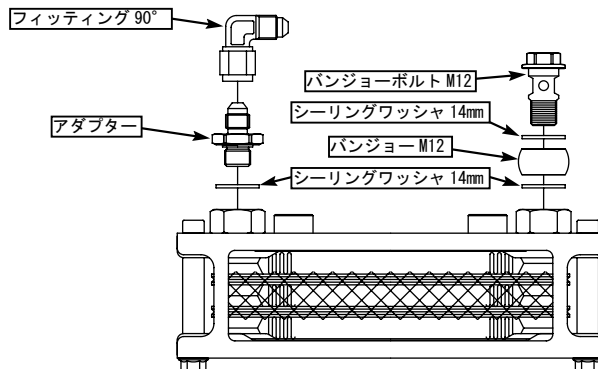
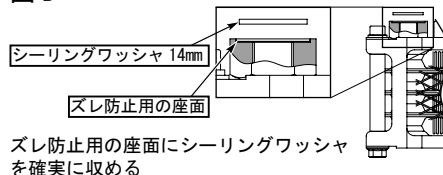


図 B (座面断面図)



■バンジョーボルト / アダプターのトルク締めについて
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの取り回し確定後に規定トルク締めを行います。

⚠注意 バンジョーボルト / アダプター締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12 / アダプター
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

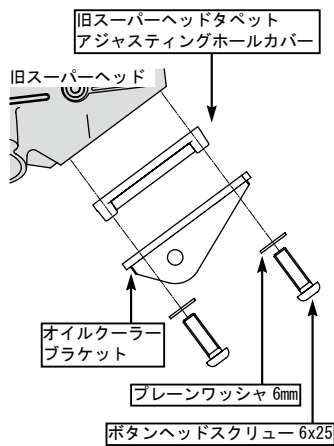
■対象製品 コンパクトクールキット シリンダーヘッド下マウント 旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパーヘッド 3フィン 07-07-0302 4フィン 07-07-0303

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) / TYPE-R (WET/DRY)
乾式クラッチカバー 2型 ver. 1/ver. 2

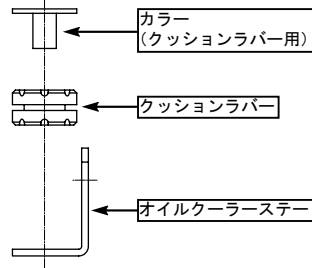
■オイルクーラスターとオイルクーラー本体の組み付け

■旧スーパーヘッドエキゾースト側のタペットアジャスティングホールカバーを取り外します。この際オイルが漏れるので、必ず下にオイル受けを用意して作業を行って下さい。
ソケットキャップスクリュー 2ヶ所を外し、タペットアジャスティングホールカバーを取り外します。
■下図のようにボタンヘッドスクリュー 6x25、ブレンワッシャ 6mm を使用し、オイルクーラーブラケットを装着します。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

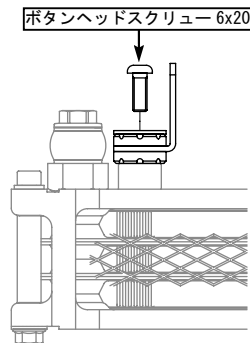


■オイルクーラスターにクッションラバーを取り付け、カラーを差し込みます。

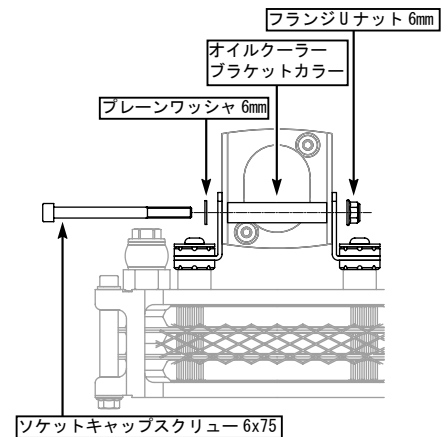


■ボタンヘッドスクリュー 6x20 を使用し、オイルクーラスターを弊社製オイルクーラー本体 (コンパクトクール) に取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



■オイルクーラーブラケットとオイルクーラスターを固定します。
オイルクーラスターがオイルクーラーブラケットの外側になる様にし、オイルクーラーブラケットの内側にオイルクーラーブラケットカラーを入れます。ブレンワッシャ 6mm を通したソケットキャップスクリュー 6x75 を差し込み、フランジUナット 6mm で締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

※締め付け後必ずフロントフォークがフルストロック時オイルクーラーに接触しないかどうかを確認して下さい。

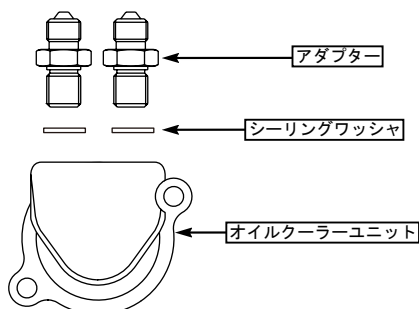
■オイルクーラーユニット (タイプ2) の組み付け

■オイルフィルターカバーの取り外し
オイルの受け皿を用意し、弊社製クラッチカバーにあるオイルフィルターカバーのキャップスクリュー 2本を取り外します。これにより、オイルフィルターカバー、オイルフィルターが外れます。

※フィルターカバーを外すとエンジンオイルが出てきますのでご注意下さい。

※オイルのにじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及びOリング当たり面のオイルを拭き取って下さい。

■アダプターの取り付け
アダプターにシーリングワッシャを入れ、オイルクーラーユニット COMP. に取り付け、締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アダプター
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

■Oリングの取り付け
アダプターを取り付けたオイルクーラーユニット COMP. に Oリングを取り付けます。

▲注意：Oリングは、分解毎に必ず新品と交換して下さい。
注意 (再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■オイルクーラーユニット COMP. の取り付け
オイルクーラーユニット COMP. へ装着した Oリング部に薄くエンジンオイルを塗布します。オイルクーラーユニットの突起部にオイルフィルターを差し込みます。クラッチカバー側にスプリングが入っている事を確認し、オイルクーラーユニット COMP. とエアフィルターを共にクラッチカバー (オイルフィルター) へ差し込みます。ソケットキャップスクリューを使用し、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

※クーラーユニット取り付け時に Oリングのかみ込みに注意して下さい。
※エンジン始動後は、オイルクーラーやクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

▲注意：スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製) に注意 使用する場合はご注意下さい。

スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製マグネシウム / ダイカスト製アルミニウム) にご使用の場合、サーモスタットユニット、及びオイルホールプラグとは同時に使用しないで下さい。同時に使用した場合、エンジンオイルが循環せず重大なエンジントラブルとなります。

■スリムラインホースの組み付け

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をスリムラインホースで接続します。

■オイルクーラーユニット側
オイルホース 150mm をオイルクーラーユニットの下側に、オイルホース 390mm を上側に取り付け、締め付けます。

■オイルクーラー側
オイルホース 150mm をオイルクーラーの右側に、オイルホース 390mm を左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スリムラインホース (フィッティング)
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

▲注意：バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■各部の緩みがないかチェックします。
ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■各部チェックとマフラーを取り外し作業した場合は、マフラーのマニュアルを参照し、組み付けて下さい。

※エキゾーストパイプにオイルが付着した場合は、拭き取って下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動
4フィン は 60cc、3フィン は 40cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。
各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジン止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトクールキット シリンダーヘッド下マウント スーパーヘッド+R (ブレードホース #4) 3フィン 07-07-0382

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む)/TYPE-R (WET/DRY)
乾式クラッチカバー 2型 ver. 1/ver. 2)

■オイルクーラスターとオイルクーラー本体の組み付け

- 平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定させます。
- オイルの受け皿を用意し、シリンダーヘッドの下側のインスペクションキャップのソケットキャップスクリュー 2本を外し、インスペクションキャップを取り外します。
- ※インスペクションキャップを取り外すとエンジンオイルが出てきますので注意して下さい。
- 付属の Oリングに少量のエンジンオイルを塗布し、オイルクーラーブラケットに取り付けます。
- オイルクーラーブラケットをシリンダーヘッドに取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

- オイルクーラスターにラバーを取り付け、ラバーにカラーを取り付けます。
- ※スターは L 字状態で、カラーを上側から取り付けて下さい。



- ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 を用いてオイルクーラー COMP. (別売) にオイルクーラスターを取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- オイルクーラーブラケットをオイルクーラスターで挟み、フランジボルト 6x40 を通し、フランジナット 6mm で締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト / フランジナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

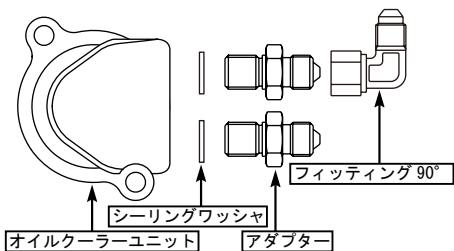


※締め付け後必ずフロントフォークがフルストロック時オイルクーラーに接触しないかどうかを確認して下さい。

■オイルクーラーユニット (タイプ 2) の組み付け

- オイルフィルターカバーの取り外し
オイルの受け皿を用意し、弊社製クラッチカバーにあるオイルフィルターカバーのキャップスクリュー 2本を取り外します。これにより、オイルフィルターカバー、オイルフィルターが外れます。
- ※フィルターカバーを外すとエンジンオイルが出てきますのでご注意ください。
- ※オイルのにじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及び Oリング当たり面のオイルを拭き取って下さい。

- アダプターの取り付け
アダプターにシーリングワッシャを入れ、オイルクーラーユニット COMP. に取り付け、締め付けます。
- アダプターにフィッティング 90° 取り付け
オイルクーラーユニット上側にフィッティング 90° を取り付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アダプター
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

- Oリングの取り付け
アダプターを取り付けたオイルクーラーユニット COMP. に Oリングを取り付けます。

▲注意：Oリングは、分解毎に必ず新品と交換して下さい。
注意 (再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

- オイルクーラーユニット COMP. の取り付け
オイルクーラーユニット COMP. へ装着した Oリング部に薄くエンジンオイルを塗布します。オイルクーラーユニットの突起部にオイルフィルターを差し込みます。
- クラッチカバー側にスプリングが入っている事を確認し、オイルクーラーユニット COMP. とエアフィルターを共にクラッチカバー (オイルフィルター) へ差し込みます。ソケットキャップスクリューを使用し、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ※クーラーユニット取り付け時に Oリングのかみ込みに注意して下さい。
- ※エンジン始動後は、オイルクーラーやクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

▲注意：スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製) に注意 使用する場合はご注意ください。

スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製マグネシウム / ダイカスト製アルミニウム) にご使用の場合、サーモスタットユニット、及びオイルホールプラグとは同時に使用しないで下さい。同時に使用した場合、エンジンオイルが循環せず重大なエンジントラブルとなります。

■ブレードホース #4 の組み付け

- オイルクーラー本体とオイル取り出し口をブレードホース #4 で接続します。
- オイルクーラーユニット側
オイルホース 150mm をオイルクーラーユニットの下側に、オイルホース 280mm を上側のフィッティング 90° に取り付け、締め付けます。
- オイルクーラー側
オイルホース 150mm をオイルクーラーの右側に、オイルホース 280mm を左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ブレードホース #4 (フィッティング)
フィッティング 90°
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

▲注意：バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

- 各部の緩みがないかチェックします。
ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。
- 各部チェックとマフラーを取り外し作業した場合は、マフラーのマニュアルを参照し、組み付けして下さい。
- ※エキゾーストパイプにオイルが付着した場合は、拭き取って下さい。
- オイル量の調整とエンジン始動
40cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。
- 各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約 1 分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

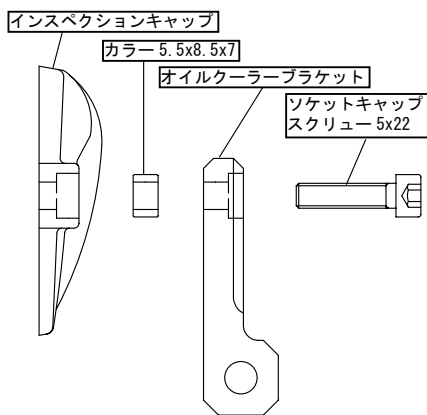
■対象製品 コンパクトクールキット シリンダーヘッド下マウント スーパーヘッド 4V+R (スリムラインホース) 3フィン 07-07-0304

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) / TYPE-R (WET/DRY)
乾式クラッチカバー 2型 ver. 1/ver. 2)

■オイルクーラースターとオイルクーラー本体の組み付け

■平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定させます。
■オイルの受け皿を用意し、シリンダーヘッドの下側のインスペクションキャップのソケットキャップスクリュー 2本を外し、インスペクションキャップを取り外します。
※インスペクションキャップを取り外すとエンジンオイルが出てきますので注意して下さい。
■インスペクションキャップにカラー 5.5x8.5x7、オイルクーラーブラケットの順にセットし、キット付属のソケットキャップスクリュー 5x22を締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：6N・m (0.6kgf・m)



■オイルクーラースターにクッションラバーを取り付け、クッションラバーにカラーを取り付けます。
※スターはL字状態で、カラーを上側から取り付けて下さい。



■ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 を用いてコンパクトクール (以下オイルクーラー) にオイルクーラースターを取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドソケットスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

■オイルクーラーブラケットをオイルクーラースターで挟み、フランジボルト 6x40 を通し、フランジナット 6mm で締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

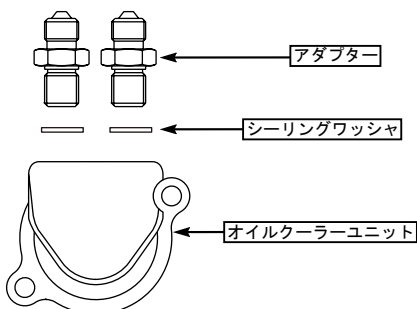


※締め付け後必ずフロントフォークがフルストローク時オイルクーラーに接触しないかどうかを確認して下さい。

■オイルクーラーユニット (タイプ 2) の組み付け

■オイルフィルターカバーの取り外し
オイルの受け皿を用意し、弊社製クラッチカバーにあるオイルフィルターカバーのキャップスクリュー 2本を取り外します。これにより、オイルフィルターカバー、オイルフィルターが外れます。
※フィルターカバーを外すとエンジンオイルが出てきますのでご注意下さい。
※オイルのにじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及びOリング当たり面のオイルを拭き取して下さい。

■アダプターの取り付け
アダプターにシーリングワッシャを入れ、オイルクーラーユニット COMP. に取り付け、締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アダプター
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

■Oリングの取り付け
アダプターを取り付けたオイルクーラーユニット COMP. にOリングを取り付けます。

▲注意：Oリングは、分解毎に必ず新品と交換して下さい。
(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■オイルクーラーユニット COMP. の取り付け
オイルクーラーユニット COMP. へ装着したOリング部に薄くエンジンオイルを塗布します。
オイルクーラーユニットの突起部にオイルフィルターを差し込みます。
クラッチカバー側にスプリングが入っている事を確認し、オイルクーラーユニット COMP. とエアフィルターを共にクラッチカバー (オイルフィルター) へ差し込みます。ソケットキャップスクリューを使用し、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

※クーラーユニット取り付け時にOリングのかみ込みにご注意下さい。
※エンジン始動後は、オイルクーラーやクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

▲注意：スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製) に注意 使用する場合はご注意下さい。

スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製マグネシウム / ダイカスト製アルミニウム) にご使用の場合、サーモスタットユニット、及びオイルホールプラグとは同時に使用しないで下さい。
同時に使用した場合、エンジンオイルが循環せず重大なエンジントラブルとなります。

■スリムラインホースの組み付け

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をスリムラインホースで接続します。
■オイルクーラーユニット側
オイルホース 150mm をオイルクーラーユニットの下側に、オイルホース 390mm を上側に取り付け、締め付けます。
■オイルクーラー側
オイルホース 150mm をオイルクーラーの右側に、オイルホース 390mm を左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スリムラインホース (フィッティング)
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

▲注意：バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■各部の緩みがないかチェックします。
ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■各部チェックとマフラーを取り外し作業した場合は、マフラーのマニュアルを参照し、組み付けて下さい。

※エキゾーストパイプにオイルが付着した場合は、拭き取して下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動
4フィンは60cc、3フィンは40cc程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。
各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

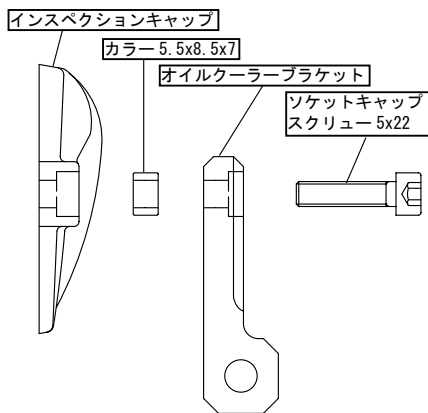
■対象製品 コンパクトクールキット シリンダーヘッド下マウント スーパーヘッド 4V+R (ブレードホース #4) 3フィン 07-07-0381

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバー 砂型鑄造製 / ダイカスト製 (プライマリー含む) / TYPE-R (WET/DRY)
乾式クラッチカバー 2型 ver. 1/ver. 2)

■オイルクーラスターとオイルクーラー本体の組み付け

■平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定させます。
■オイルの受け皿を用意し、シリンダーヘッドの下側のインスペクションキャップのソケットキャップスクリュー 2本を外し、インスペクションキャップを取り外します。
※インスペクションキャップを取り外すとエンジンオイルが出てきますので注意して下さい。
■インスペクションキャップにカラー 5.5x8.5x7、オイルクーラーブラケットの順にセットし、キット付属のソケットキャップスクリュー 5x22を締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：6N・m (0.6kgf・m)



■オイルクーラスターにクッションラバーを取り付け、クッションラバーにカラーを取り付けます。
※スターはL字状態で、カラーを上側から取り付けて下さい。



■ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 を用いてコンパクトクール (以下オイルクーラー) にオイルクーラスターを取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドソケットスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

■オイルクーラーブラケットをオイルクーラスターで挟み、フランジボルト 6x40 を通し、フランジUナット 6mm で締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

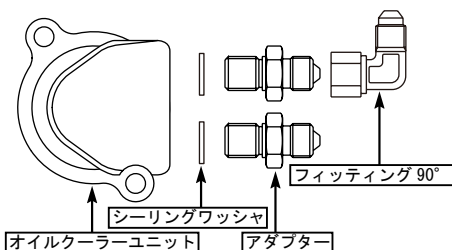


※締め付け後必ずフロントフォークがフルストローク時オイルクーラーに接触しないかどうかを確認して下さい。

■オイルクーラーユニット (タイプ 2) の組み付け

■オイルフィルターカバーの取り外し
オイルの受け皿を用意し、弊社製クラッチカバーにあるオイルフィルターカバーのキャップスクリュー 2本を取り外します。これにより、オイルフィルターカバー、オイルフィルターが外れます。
※フィルターカバーを外すとエンジンオイルが出てきますのでご注意ください。
※オイルのにじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及びOリング当たり面のオイルを拭き取って下さい。

■アダプターの取り付け
アダプターにシーリングワッシャを入れ、オイルクーラーユニット COMP. に取り付け、締め付けます。
■アダプターにフィッティング 90° 取り付け
オイルクーラーユニット上側にフィッティング 90° を取り付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アダプター
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

■Oリングの取り付け
アダプターを取り付けたオイルクーラーユニット COMP. にOリングを取り付けます。

▲注意：Oリングは、分解毎に必ず新品と交換して下さい。
(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■オイルクーラーユニット COMP. の取り付け
オイルクーラーユニット COMP. へ装着したOリング部に薄くエンジンオイルを塗布します。
オイルクーラーユニットの突起部にオイルフィルターを差し込みます。
クラッチカバー側にスプリングが入っている事を確認し、オイルクーラーユニット COMP. とエアフィルターを共にクラッチカバー (オイルフィルター) へ差し込みます。ソケットキャップスクリューを使用し、規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

※クーラーユニット取り付け時にOリングのかみ込みに注意して下さい。
※エンジン始動後は、オイルクーラーやクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

▲注意：スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製) に注意 使用する場合はご注意ください。

スペシャルクラッチカバー (ダイカスト製マグネシウム / ダイカスト製アルミニウム) にご使用の場合、サーモスタットユニット、及びオイルホールプラグとは同時に使用しないで下さい。
同時に使用した場合、エンジンオイルが循環せず重大なエンジントラブルとなります。

■ブレードホース #4 の組み付け

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をブレードホース #4 で接続します。
■オイルクーラーユニット側
オイルホース 150mm をオイルクーラーユニットの下側に、オイルホース 280mm を上側のフィッティング 90° に取り付け、締め付けます。
■オイルクーラー側
オイルホース 150mm をオイルクーラーの右側に、オイルホース 280mm を左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ブレードホース #4 (フィッティング)
フィッティング 90°
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

▲注意：バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

■各部の緩みがないかチェックします。
ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■各部チェックとマフラーを取り外し作業した場合は、マフラーのマニュアルを参照し、組み付けて下さい。

※エキゾーストパイプにオイルが付着した場合は、拭き取って下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動
40cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。

各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。